

## 普及活動情勢報告（令和7年9月分）

高吾農業改良普及所

### ～ウイルス対策を検討～サンショウのウイルス調査を実施



サンショウウイルス調査の様子

普及所は8月28日に薬用サンショウを生産する法人と製薬会社、秋田大学と協力してサンショウのウイルス調査を実施しました。これまでの調査で越知町内の圃場でモザイク症状や葉の矮化等の症状が見られるサンショウからソテツえそ萎縮ウイルス、カンキツ斑点ウイルスが同定されていたことから、今回の調査では樹齢の高い園地を中心にウイルスの感染の有無を確認しました。

ウイルス感染した木を伐採した周辺で感染がうたがわれる木も見られたため、サンショウのウイルスは土壌感染又は接触感染が想定され、感染防止対策として剪定の際に圃場毎にはさみを変える、感染の疑いのある木の枝が隣接する木に接触しないように剪定する等の対策を検討しました。

今後、普及所は樹勢維持対策の一つとしてウイルス感染防止対策を生産者に周知していきます。

### イチゴの定植作業が始まります！ ～検鏡による花芽分化の確認～



花芽検鏡の様子

JA高知県佐川支所苺部会では、毎年、9月下旬頃から10月上旬にかけてイチゴの定植作業を行っており、定植前のイチゴ苗の花芽検鏡も9/16から始まり、普及所もこれをサポートしています。

今年は夜温が高かった影響もあり、花芽分化が例年より遅く、生産者からは「近年は、高温の影響で花芽分化が遅れ、定植作業がどんどん遅れている。」や「もう少し苗を夜冷ハウスで冷やして、花芽分化を促してみる。」と言った声が聞かれました。

普及所は、今後も定植後のほ場巡回を通して、イチゴの生産安定に向けて取り組んでいきます。

### 高糖度トマト定植後の栽培管理について ～生産者と早朝巡回を実施～



早朝巡回の様子

JA高知県日高支所ハウス園芸部会では促成高糖度トマトの定植後の早朝巡回を8月18日から9月4日にかけて週2～3回行い、延べ35名が参加しました。

今年度は普及所の提案により生産者も定植後のほ場巡回に参加しており、「現状のかん水管理で問題ないか？」「苗のどこを見て、かん水量を決めているか？」など生産者同士で多くの意見交換をしていました。

参加者からは、「定植前に他の生産者のほ場で学べたことで生育の状況に応じたかん水管理を実践することができた」といった声が聞かれました。

普及所では、今後も生産者とともに高糖度トマトの生産安定に向けて、取り組んでいきます。